

2/17

夏と冬の違いを観察 湧別中学校の生徒がフィールドワーク

湧別中学校の生徒5人がフィールドワークで冬の五鹿山公園を探索しました。

これは、総合的な学習「ゆうべつ学」の授業で行われたもので、五鹿山公園の夏季と冬季の違いを実際に確認してもらおうとゆうべつアウトドアクラブYU-PALの絹張洋史会長を講師に招き、スノーハイクを体験しました。

スノーシューを履き動物の足跡や植物などを観察。「スノーシューがないと、こんなに歩けないとは思わなかった。」と話すなど、夏と冬の動植物の違いに理解を深めるとともに、貴重な体験となったようでした。

五鹿山公園



動物の足跡や植物などを観察しました

2/22

住民によるまちづくりを目指して 第3期 第3回自治推進委員会を開催

3回目の委員会では、自治基本条例の3つの基本原則のうち、「町民参加」について審議しました。

町政に対する町民参加への取り組み内容が説明された後、「結論ありきで進めるのではなく、みんなが参加して結論を出すことが重要」、「町がどれだけ町民から意見を吸い上げて実現するかが、意見を出す人が増えることにつながる」、「LINEを使って意見を募集したら意見が増えるのでは」、「要望に対しての結果をしっかりと情報提供することも重要」など、多くの意見が出されました。

文化センターTOM



湧別町自治基本条例を点検し見直す、自治推進委員会

3/2

新入学児童が安全に登下校できるように 交通安全ランドセルカバーを寄贈

生活協同組合コープさっぽろから、町内の小学校・義務教育学校の新1年生にランドセルカバーが寄贈されました。

これは、新入学児童の安全な登下校に役立ててほしいと14年連続で寄贈されているもので、黄緑色のランドセルカバーをつけることで子どもたちとドライバーの相互の交通安全意識の強化に役立っています。

黄緑色のランドセルカバーを着けて元気よく登下校する子どもたちの姿が見られそうですね。

教育長室



新1年生53人に寄贈

3/4

安心して豊かな日常生活を送れるように コミュニティ研修会

文化センターさざ波でコミュニティ研修会が開催され、自治会長や地域住民など約80人が参加しました。

これは、安心して豊かな日常生活を送ることのできる明るい地域社会を推進するため湧別町自治会連合会が毎年主催しているもので、今回は、北見方面遠軽警察署の大野裕子さんと湧別町社会福祉協議会の海谷政貴さんを講師に招き「特殊詐欺」と「自治会だからこそできる、支え合いの地域づくり」について講演がありました。

参加者は詐欺被害の予防と地域福祉の活動のヒントとなったようでした。

文化センターさざ波



新型コロナウイルス感染症の影響から4年ぶりの開催となりました



文化センターさざ波



教育委員会が主催となり実施されました

3/
10

操作方法を学んで生活を便利に 高齢者向けスマートフォン教室を開催

高齢者向けスマートフォン教室が開催され、参加者13人が操作方法などを学びました。

これは、高齢者などでもスマートフォンなどデジタル機器・サービスを活用できるようにと、㈱ソフトバンクを講師に招き行われたものです。

スマートフォンを使い、地図アプリやカメラアプリなどの、アプリの開き方や操作方法を教わると、参加者は「スマートフォンでこんな事ができるのか。」「上手に操作できた。」など、喜びや感動の声を上げていました。

五鹿山スキー場



幼児から大人まで白熱したレースが展開されました

3/
12

スキー場に歓声が響く 五鹿山スキー場まつり

恒例となる五鹿山スキー場まつりが開催されました。

この催しは、スキーやスノーボードを通して、心身ともに健康で、雪と楽しく触れ合っていただこうと、湧別スキー協会が主催しているもので、家族や友人などが声援を送るなか、幼児から大人まで白熱したレースが展開されたほか、仮装で会場を盛り上げる選手もいました。

また、競技だけではなく、お菓子まきなどのアトラクションも行われ、出場選手や家族など会場に詰め掛けた方は、スキー場での楽しい時間を過ごしていました。

3/16 公金収納事務のデジタル化費用として200万円



遠軽信用金庫の島田光隆理事長

3/
16~31

寄付をありがとう 遠軽信用金庫・中川組・渡辺組

遠軽信用金庫の島田光隆理事長、㈱中川組の森光弘社長、㈱渡辺組の渡辺勇喜社長が役場を訪れ、町に対して寄付をされました。

刈田町長は「町の財政が厳しいなか、頂きました貴重なご寄付は大切に使用させていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

誠にありがとうございます。

3/30 子育て支援として100万円



㈱中川組の森光弘社長

3/31 地域医療支援として300万円



㈱渡辺組の渡辺勇喜社長



3/16

MOA美術館児童作品展で銅賞 開盛小1年の加茂あずさんが入賞

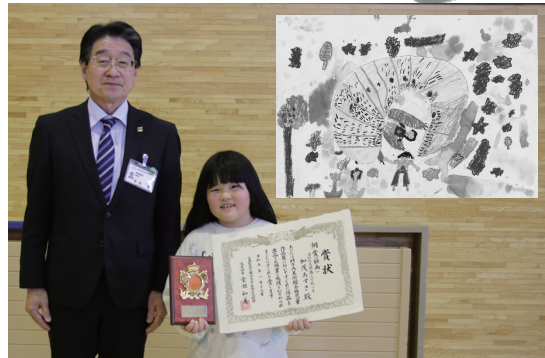
加茂あずさんが第33回MOA美術館全国児童作品展の絵画の部において、見事銅賞に輝きました。

これは、MOA美術館（静岡県）が主催している児童作品展で、子どもたちが自然・環境、社会、他者との関わりを通して興味や関心を持ったことを絵画や書写によって表現する作品展で、国内外から応募がありました。

開盛小学校で伝達式が行われ、阿部教育長から賞状を受け取ると「小さいころから絵を描くのが好きだった。選ばれてうれしい。」と笑顔で話していました。

加茂さんおめでとうございます。

受賞作品「つちのうえにいたようちゅうちゃん」
(MOA美術館児童作品展サイトより引用)



13万3,739点の作品の中から特別賞70作品のひとつに選ばれました

3/19

地域の防火・防災活動に期待 芭露分団に最新式の消防ポンプ車を配備

消防ポンプ車の入魂式が挙行され芭露分団（平野秀樹分団長）に新車両が配備されました。

新車両の主な特徴は、液晶タッチパネル式揚水モニター、エンジンカッター、チェーンソーが追加されたほか、ミッションがオートマチックに変更となり、マニュアル車に慣れていない若い団員でも安心して運転できるようになりました。

これまで31年間にわたり芭露地区を守る第一線車両として活躍してきた消防ポンプ車は、この日をもって引退となりました。

遠軽地区広域組合湧別町消防団芭露分団詰所



手動調整だったポンプ操作が液晶タッチパネルによる自動操作になりました

3/19

懸命に生きた漁師の母と子どもたちを表現 町民芝居ゆうべつ第19回公演

町民芝居ゆうべつ（座長 長谷川洋さん）の第19回公演が行われ、洗練された演技で観客を魅了しました。

町民芝居ゆうべつは、毎年、湧別町の歴史上の出来事など地域に根ざしたオリジナル演劇を上演しています。

今回の上演タイトルは「浜のかあちゃん」。漁師からの話や資料を参考に、昭和40年代のサロマ湖の漁師がホタテ・カキの養殖にむけ、さまざまな苦難を乗り越える様子表現しました。

公演では、厳しい時代のなかでも懸命に生きた漁師の母と子どもたちに、観客は感銘を受けていました。

文化センターさざ波



満席の観客から惜しみない拍手が送られました

3/23・30

安定した介護を提供するために 外国人介護福祉士が町内介護施設に就職

町内初となる外国人介護福祉人材制度を利用した留学生が湧別オホーツク園と湧愛園で働いています。

これは、人材不足が深刻な介護分野において、介護福祉士を目指す留学生が町から奨学金を受け資格取得を目指し、卒業後5年間就労することで返済が免除となる制度で、今回本制度を利用して湧別オホーツク園に中国人2人、湧愛園にベトナム人1人が就職しました。

留学生は日本語学校で日本語を学んだのち、旭川福祉専門学校を卒業しており、高い日本語能力と介護技術を持ち合わせています。

即戦力として活躍が期待されています



写真左から、オウケイツさん、キュウイホウさん（オホーツク園）、ファムティキムフォンさん（湧愛園）



イベント・行事スケジュール

4月10日から5月20日までに行われる
イベントや行事をお知らせします。

4月13日(木)	移動町長室 (9:00-12:00 役場湧別庁舎)	
18日(火)	チューリップ生きがい大学「開講式・自治会総会」(10:00 文化センターさざ波)	
20日(木)	移動町長室 (9:00-12:00 役場湧別庁舎)	
22日(土)	湧ゆう湧くわく体験塾「入塾式」(10:00 文化センターさざ波)	
29日(土)	Family 愛 Land YOUオープン (9:30 Family 愛 Land YOU)	
5月1日(月)	2023かみゆうべつチューリップフェア (8:00-18:00 かみゆうべつチューリップ公園) ~6月上旬	
11日(木)	移動町長室 (9:00-12:00 役場湧別庁舎)	
13日(土)	湧ゆう湧くわく体験塾「チューリップフェアボランティア」(9:00 かみゆうべつチューリップ公園)	
14日(日)	五鹿山公園まつり (10:00 五鹿山公園)	
20日(土)	チューリップを愛でる会 (9:30-15:20 かみゆうべつチューリップ公園) チャレンジスポーツスクール「入学式」(10:00 湧別総合体育館)	

チューリップ関連イベント

～刈田町長と湧別の未来を語りませんか?～湧別庁舎の移動町長室でお待ちしています

オホーツク海の海明けとともに浜には活気があふれ、畑も一気に雪解けが進み日ごとに春の訪れの足音を感じる頃となりました。

4月は出会いの季節、入園、入学、入社と期待に胸膨らませ、新しい生活がスタートします。

魅力的な町であり続けるために、町民の皆さまとともに、第3期総合計画に掲げる町づくりの将来像「人と自然が輝くオホーツクのまち」をめざして、本計画に基づく施策を積極的に展開してまいりますので、お気軽に「移動町長室」にお越しいただき、ご意見やご要望をお聞かせください。

◆開催日程 4月13日(木)、20日(木)、5月11日(木) 午前9時から正午まで

◆開催場所 湧別庁舎 移動町長室

◆お問い合わせ先 総務課広報・自治会グループ(上湧別庁舎) TEL2-2112

*公務により町長が不在のときは、副町長が対応します。

*上記の日程以外は、上湧別庁舎で執務を行っています。お気軽に町長室へお越しください。



各種大会で活躍

※町内在住で、全道規模以上の大会等に出場した方・団体を掲載しています。(敬称略)

◆第34回昭和南山国際雪合戦 (2/25~26: 壮瞥町)

一般の部

RYU☆KOHA BB 準決勝リーグ敗退

レディースの部

RYU☆KOHA 準優勝



◆第20回東日本U15中学生ラグビーフット ボール選抜大会

(3/11~12: 茨城県水戸市)

北海道選抜として

松田 春大(上湧別中2年) Aグループ3位



下段右から2人目が松田さん

◆コントリビュートカップ第24回全国中学生 軟式野球大会

(3/18~19: 千葉県柏市)

北海道選抜チームとして

山口 大和(上湧別中2年) ベスト8



～今年は海岸びっしりの流氷を見ることができました～

この日は風も強く、極寒…!
寒さに耐えきれず、見ていた時間はほんの数分でした。



返礼品PR動画を公開しています

ふるさと納税の返礼品の提供をしている事業者である登栄床の漁師さんのインタビュー動画を新しく2本公開しました。

撮影を行ったのはサロマ湖がまだ結氷している2月初旬で、この時期にしては比較的暖かな日でした。漁師さんのご厚意でスノーモービルの操縦をさせてもらいましたが、肌が出ていた箇所感覚がなくなるほど寒かったです。

(スノーモービルで公道を走る場合には、普通自動車免許が必要です。)

牡蠣の収穫のために、もっと冷え込む早朝に湖上を走る漁師さんたちがいるからこそおいしい牡蠣を食べることができているんだなど、改めてありがたみを感じた瞬間でした。

撮影時の様子。
お仕事風景とインタビューの様子を撮影します。



公開動画は町ホームページからもご覧いただけます。

湧別町ふるさと納税ページ



～動画が公開されるまで～

- ①事業者さんとの打ち合わせ
動画企画の説明、撮影時期やインタビュー内容の確認等を行います。
- ↓
- ②仕事風景&インタビュー撮影
撮影は事業者と相談し決めていきます。
1日で終わる場合も、数日に分けて撮影する場合もあり、さまざまです。
- ↓
- ③動画編集ソフトを使い動画を制作
撮影した動画と音声をつなぎ、2分ほどの動画にまとめます。他業務との兼ね合いもあるので1週間ほどかかります。
- ↓
- ④動画チェック
役場関係者と事業者に誤字脱字や内容を確認してもらいます。
- ↓
- ⑤YouTubeにて公開
町のYouTubeチャンネルにて公開します。

チューリップの季節が近づいてきました

チューリップ公園では早速、チューリップフェアの準備が進められています。以前好評だった特別な植え方をした花壇があり、私は初めて見ることになるので、今からとても楽しみです♪



芽出しのピョコピョコがかわいいです

～地域資源を活用して～

魅力あるまちづくり

スタートアップ応援事業

地域資源の活用や地域の活性化など、魅力あるまちづくりに取り組む方に対し必要な費用を補助しています。

魅力あるまちづくりスタートアップ応援事業をご活用いただき、新たな取り組みにチャレンジしてみませんか。

企画財政課 未来づくりグループ TEL2-5862

実際に行われた取り組み

●ふるさと納税ポータルサイトの再構築

(株)モグぱっく

プロカメラマンによる返礼品の写真撮影や事業所への取材を行い、ふるさと納税ポータルサイトの再構築を行いました。

また、ふるさと納税の代行業者として、SNSを活用した魅力を発信し、PR活動に力を入れました。



プロカメラマンにより撮影された返礼品の鹿肉の写真

●地域資源を活用した商品開発

沢口産業(株)

町内で生産されている“とら豆”を活用した「とら豆抹茶プリン」を開発しました。

湧別町に多くの人に来てもらえるように、今後は、商品を通じた町のPR活動に力を入れるとともに、とら豆を活用した事業を継続し、とら豆の作り手を増やすことに取り組めます。



商品開発で誕生した、とら豆抹茶プリン

補助内容

◆対象となる事業

地域資源付加価値向上事業

地域資源を活用した新製品や新サービスの開発

④ 地域資源を活用した加工品の試作、開発を行う

地域資源の付加価値を高める研究

④ 6次産業化等に関する調査、研究

販路の拡大、新規開拓

④ 販路拡大に向けた市場調査

イメージアップ支援事業

町および地域資源のイメージを高める事業

④ 製品パッケージの制作

産業間連携事業

産業間の連携を推進する事業

④ 他産業の技術転用に向けた研究、他産業と連携した製品の開発

◆対象者

町内に住所を有する個人・個人で構成する団体
対象経費の3/4以内で上限額100万円

町内に独立した事業所を有する法人
対象経費の1/2以内で上限額100万円

◆申請方法

所定の事業計画書を企画財政課に提出

◆申請期限

5月19日（金）

詳しくは町ホームページをご覧ください



いつでもご相談ください 地域包括支援センター



地域包括支援センターは、住み慣れた地域でその人らしい生活を続けられるよう、さまざまな方面から高齢者の皆さんを支える機関です。介護のことはもちろん、相談先が分からない困りごとなど、何でもご相談ください。

◆何でもご相談ください（総合相談支援）

高齢者の皆さんや家族、近隣に暮らす方の介護に関する悩みや問題に対応します。介護保険サービスの説明のほか、認知症に関すること、健康や福祉、医療、相談先が分からない困りごとなど、何でもご相談ください。

◆皆さんの権利を守ります（権利擁護）

高齢者の皆さんがもつさまざまな権利を守ります。成年後見制度の紹介や、虐待や消費者被害の相談・防止に対応します。

◆介護予防や健康維持を支えます（介護予防ケアマネジメント）

要支援1・2と認定された人には、介護予防サービス等の利用ができるよう支援します。介護認定を受けていない人には、介護予防教室の「大筋クラブ」を月2回開催しており、健康づくりを支援します。

◆さまざまな方面から皆さんを支えます（包括的継続的ケアマネジメント支援）

皆さんを支えるケアマネージャーの支援のほか、高齢者の皆さんにとってより暮らしやすい地域にするため、さまざまな機関とのネットワークづくりにも力を入れています。

【お問い合わせ先】地域包括支援センター（福祉課）

～ヘルシースプーン会の副菜レシピ～

キャベツと油揚げのしょうが酢和え

◎材料（4人分）

キャベツ	…200g
油揚げ	…1枚
ミニトマト	…6個

〈タレ〉

おろししょうが	…大さじ1杯
酢	…大さじ2.5杯
めんつゆ	…大さじ3杯
砂糖	…小さじ1杯

※酸味が苦手な方は酢の量を減らしましょう。



4人分 *エネルギー：43kcal *塩分：0.4g

◎作り方

- ①キャベツは食べやすい大きさにちぎってゆで、ザルにあげて冷まします。（レンジで2～3分温めてもよい）
- ②トマトはヘタを取って半分に切ります。
- ③油揚げは縦に半分に切って細切りにし、フライパンでこんがり焼き色がつくまで焼きます。
- ④ポウルに①、②、③と〈タレ〉を混ぜ合わせます。

「ヘルシースプーン会」で一緒に活動しませんか

健康に関する講話や調理実習のほか、町の健康づくりを目的にレシピ配布活動も行っています。現在13人で活動しており、食事や健康に興味のある方はどなたでも参加できます。興味のある方は気軽にお問い合わせください。



事務局：健康こども課 健康相談グループ